平成27年度

トップマネジメントセミナー「地域で支える医療」

高齢化が急速に進行する中、各自治体では、地域の特性や実情に応じた地域包括ケアシステムの構築へ向けた取り組みが進められています。本セミナーは、市区町村長、市区町村議会議員及びNPOや住民組織の代表者等を対象とし、「どのようにして住民・医療機関・行政がともに地域医療を支えていくか」をテーマとして実施します。

研修のポイント

- 「地域で支える医療」を模索・実践している自治体からの事例報告や講師の講義により、講師と参加者が情報を共有し、ともに考えます。
- 地域の実情にあったより良い地域医療を目指し、参加者が各自治体に戻って提案可能な「住民との協働アクションプラン」作りに、それぞれの立場から取り組んでいただきます。

開　催　要　領

日　程	**平成27年７月６日（月）～７月７日（火）　（２日間）**	
場　所	**全国市町村国際文化研修所**　JR京都駅より湖西線約15分　唐崎駅下車徒歩約３分	
対　象	**①市区町村長・副市区町村長及び部長級職員** **②市区町村議会議員**（議会事務局を通じてお申し込みください。） **③今回のテーマに関連して市区町村や医療機関等との協議実績をお持ちのNPO・住民組織の代表者、地域医療機関の代表者等※** ※の方のお申し込みに際しては、裏面「受講申込書」に協働実績の記載をお願いいたします。 2日間全日程をご受講いただける方を対象といたします。途中退所や一時帰庁はできませんので、ご注意ください。	
募集人数	**30人**	募集人数を大幅に超えた場合は、「申込時アンケート」に基づく選考とさせていただきます。なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。 申込みに際し、「申込時アンケート」（下記「申込方法」参照）にお答えいただきます。 （アンケート回答の内容は選考の判断材料ではありません。より多種多彩な事例をお持ちの方々にご参集いただくよう選考します。）
宿　泊	**研修所宿泊棟（宿泊型研修）**　※外泊はできません。	
経　費	**7,300円**	左記金額は、研修、宿泊、食事（朝食1回、昼食2回、夕食1回）、資料等にかかる費用です。 なお、事前準備・事前学習にかかる費用は含まれておりません。
申込期限	**平成27年５月25日（月）まで**	
申込方法	**・JIAMホームページ内「Web申込み」からお申し込みください。市区町村議会議員の方は、議会事務局を通じてお申し込みください。** ※「Web申込み」が難しい場合は、FAXでも受け付けています。 **・申込みと同時に「申込時アンケート」の回答を電子メール又は、FAXによりご提出ください。** **「申込時アンケート」のご提出のない申込みは無効となりますので、ご注意ください。** ※「申込時アンケート」様式は、JIAMホームページ（http://www.jiam.jp）の「研修：事前課題」からダウンロードしてください。送信先メールアドレスは、アンケート様式に記載しています。	
受講決定	受講の可否については、開講日の約１か月前までに通知をお送りします。 経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。	
事前課題	研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。	

【問い合わせ先】
公益財団法人 全国市町村研修財団
全国市町村国際文化研修所（JIAM）教務部
〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号　TEL.077-578-5932　FAX.077-578-5906
［e-mail］kenshu@jiam.jp　［ホームページ］http://www.jiam.jp

研修の内容及び日程

7月6日(月)

10:30～ **入寮受付・昼食**

12:10～12:40 **開講・オリエンテーション**

12:40～13:30 **課題提起** **基調報告「地域医療の課題と方向性」**

自治医科大学地域医療学センター長 梶井　英治 氏

13:45～15:35 **全体ディスカッション**

事例報告 兵庫県香美町における取り組み

前 兵庫県香美町総務課付特命課長（医師招へい・地域医療担当） 尾崎　桂子 氏

平成17年、３町合併に伴い複数の公立病院、国保診療所を抱えることとなった香美町は、合併直後から深刻な医師不足に陥り、診療体制の縮小等の問題に直面。このような状況において、医療体制の再編、公立病院や診療所の医師確保の取り組み、住民・病院医師と連携して実施している地域医療巡回講座、小学校での絵本の読み聞かせを通して地域医療の大切さを啓発する事例など、地域医療の持続に向けた取り組みについてご紹介いただきます。

【案内役】自治医科大学地域医療学センター助教 神田　健史 氏

15:50～18:10 **グループディスカッション1**

基本テーマ：地域の実情にあったより良い地域医療を目指して
～住民との協働アクションプラン～

自治医科大学地域医療学センター長 梶井　英治 氏

自治医科大学地域医療学センター助教 神田　健史 氏

【ディスカッションの進め方】

●グループディスカッションⅠ

グループに分かれて、事前課題等を活用しながら情報交換を行っていただき、情報交換・議論の対象とする想定自治体を選出していただきます。

●グループディスカッションⅡ

講師の指導のもと、グループで想定自治体における課題解決の検討等を行い、アクションプランを策定していただきます。

18:30～19:45 **～車座セミナー～**

講師にもご参加いただき、夕食をとりながら交流・意見交換を行っていただきます。

7月7日(火)

8:30 ～11:30 **グループディスカッション2**

基本テーマ：地域の実情にあったより良い地域医療を目指して
～住民との協働アクションプラン～

自治医科大学地域医療学センター長 梶井　英治 氏

自治医科大学地域医療学センター助教 神田　健史 氏

前日に引き続き、講師の指導のもと、グループに分かれてアクションプランの策定を行っていただきます。

11:30～12:30 **昼食**

12:30～14:45 **プラン発表・意見交換・講評**

基本テーマ：地域の実情にあったより良い地域医療を目指して
～住民との協働アクションプラン～

自治医科大学地域医療学センター長 梶井　英治 氏

自治医科大学地域医療学センター助教 神田　健史 氏

各グループで策定したプランについて、発表を行っていただきます。その後意見交換を行い、講師から講評をいただきます。

14:45～14:55 **閉講・事務連絡**

講師紹介

梶井　英治（かじい・えいじ）氏

自治医科大学地域医療学センター長

鳥取県出身。昭和53年に自治医科大学を卒業。鳥取県立中央病院でのローテート研修を経て、地域医療に従事。その後、母校に帰り、幅広い研鑽を積み、平成10年に地域医療学教授、平成13年から総合診療部長を兼務し、平成20年4月から地域医療学センター長に就任。現在、総合医の育成、そして、地域医療に関わる研究活動に従事しながら、地域医療の充実へ向けて地域における啓発活動に取組んでいる。厚生労働省地域医療再生計画に係る有識者会議、総務省定住自立圏構想の推進に関する懇談会等の委員を務める。

神田　健史（かんだ・たけふみ）氏

自治医科大学地域医療学センター地域医療学部門助教

平成11年自治医科大学卒業。新潟県福祉保健課にて新潟大学、新潟県立中央病院での研修後、佐渡市立両津病院、佐渡市立相川病院等、離島、へき地で6年間診療に従事する。へき地に勤務中から、首長、議員、NPO団体関係者と連携し地域医療の充実に尽力。平成20年、9年間の義務年限終了後、自治医科大学地域医療学センターに戻り現職。全国各都道府県及び各市町村での地域医療充実のための活動を精力的に行っている。平成22年から厚生労働科学研究班「都道府県へき地保健医療計画策定支援とその実施に関する研究班」に属し、都道府県を直接訪問しての技術的助言など画期的手法を用いて、国と都道府県とのパイプ役を果たしている。

フォローアップ（予定）

本セミナー終了後（8月以降、平成27年度中）、ご参加いただいた皆様が引き続きプランの検討や実施に向けた活動を進めていかれることを支援するために次のフォローアップを実施する予定です。

- **プラン策定等メール指導**
- **出張フォローアップ**
- **メーリングリスト**

※詳細は、研修中に説明いたします。

フォローアップの活用例

JIAMで実施した「トップマネジメントセミナー」のフォローアップを活用した市民集会はこれまで5回開催されています。

H21年度 愛知県津島市
H22年度 広島県神石高原町
H23年度 兵庫県西脇市・群馬県渋川市
H25年度 広島県世羅町

◎研修内容については、都合により変更になることがありますので予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。

◎受講者による講義中の録音・写真撮影は、固くお断りしております。

◎当研修所では、宿泊室を全室禁煙としております。喫煙は所定の喫煙場所でお願いいたします。

JIAM メールマガジンのお知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひご登録ください。
読者登録は、JIAMホームページで受け付けています。

夏季における軽装について

当研修所では、地球温暖化防止及び省エネルギーに資するため、夏季の期間（5月1日から10月31日まで）は、「ノー上着・ノーネクタイ」などの軽装での受講を推奨しており、職員も軽装で執務しております。公務研修の場における服装として品位が保てる軽装で受講してください。

研修所までの交通のご案内

■最寄り駅は、ＪＲ湖西線唐崎駅です。
■ＪＲ京都駅から唐崎駅までの所要時間は、約15分です。
■ＪＲ唐崎駅から研修所までは、徒歩約3分です。

［研修所の所在地］

FAXでのお申込みは矢印の方向に

平成27年度　受講申込書

研修名及び時期	トップマネジメントセミナー「地域で支える医療」 平成27年７月６日(月)～７月７日(火)（２日間）			
市区町村コード番号			※全国市町村要覧に記載のコードを６桁で記入してください。 （例：１２３４５－６の場合、１２３４５６と記入）	
団体名	都道府県		市区町村組合	
所在地 （受講決定通知送付先）	〒		申込手続の担当課名	
			担当者名	
			電話番号	
			ＦＡＸ番号	
			e-mail アドレス	
NPO 等の方	（今回のテーマに関連する地方公共団体や医療機関等との協働実績内容）			
受講者	所属			
	役職名			
	ふりがな			
	氏名			
	年齢（入寮時の年齢）	歳	性別	男　・　女
	本研修関連職務の通算経験年月数（研修開始日現在）		年　　ヶ月	

上記のとおり、研修の受講を申し込みます。

平成　　年　　月　　日

団体の長の職　氏名（市区町村長・市区町村議会議長・NPO 代表者等）

全国市町村国際文化研修所学長　あて　　公印省略可

この申込書は、議会事務局を通じてお申し込みください。
「申込時アンケート」様式をJIAMホームページの「研修：事前課題」からダウンロードして回答の上、電子メール又はFAXで提出してください。「申込時アンケート」の回答のない申込みは、無効となりますのでご注意ください。

この申込書でご提供いただきました個人情報は、今回の研修実施のために使用します。なお、個人情報を集計して個人を特定できない統計資料を作成するために利用する場合があります。

全国市町村国際文化研修所（JIAM）教務部　FAX.077（578）5906